



いわて純情むすめ

活動報告



まへむきに
ひたむきに
純情産地
いわて

カーリングで初代全国王者 中学生チームに県産豚肉1頭分を贈呈

「第1回全農全日本中学生カーリング選手権」優勝記念贈呈式

J A全農いわてでは9月2日（金）、「第1回全農全日本中学生カーリング選手権」優勝記念贈呈式を開催しました。初代王者に輝いた中学生カーリングチーム「いわてC A」の5選手に、ブランド豚肉「いわて純情豚」1頭分と目録を贈呈しました。

J A全農が特別協賛をしている当大会は、8月6日（土）・7日（日）に新潟県で開催されました。中学生を対象としたカーリング全国大会としては初の大会で、8チームが出場した。いわてC Aは、1次リーグを全勝で勝ち抜き、決勝では青森C Aを10-1で下し大会を制しました。

本会高橋司県本部長が「全農の大会で岩手のチームが活躍し優勝したことは、岩手県人として嬉しく誇らしい。岩手の美味しいものを用意したので、ぜひ楽しんでください」と挨拶し、記念品を贈呈しました。また選手挨拶では、瀬川さんが代表して

JAいわて中央食農立国おもてなしフェア 令和4年9月17日（土）～19日（月）

9月17日（土）～19日（月）に広島県内と愛媛県内で開催された「JAいわて中央 食農立国おもてなしフェア」に服部咲希さんが参加しました。

広島県・愛媛県内のスーパーでは、岩手県産の農産物が販売され、「銀河のしずく」や岩手県産のりんごをPRしました。



ミルクフェア2022いわて 令和4年9月17日（土）～18日（日）

9月17日（土）～18日（日）に滝沢市のツガワ未来館アピオで開催された「ミルクフェア2022いわて」に高橋怜那さんと岩淵春花さんが参加しました。

メーカー13社が一堂に集結し、自慢の牛乳や乳製品をPRしました。それぞれのブースでは、牛乳やチーズ、ヨーグルト、ソフトクリームなどを販売。純情むすめの2人はサンプル商品の配布や、キャンペーンのPRを行いました。

3年ぶりに開催された「ミルクフェア」には、県内の乳業



2022いわて純情むすめ @iwate_junjo_musume

純情むすめの活動と「純情産地いわて」の魅力をお届けします!



いわての牛乳 @iwate_no_gyunyu

岩手の牛乳・乳製品・酪農の魅力を発信するInstagram「いわての牛乳」を開設しました!



高橋本部長から「いわて純情豚」が贈呈されました



左から、中里さん、瀬川さん、中谷さん

挨拶。「岩手にもカーリング専用シートができ、練習環境が整ったことで一人一人しっかりと力を付け試合に臨むことができました。試合会場の「もぐもぐブース」で全農さんが用意してくれたお菓子が美味しかった」と笑顔で大会を振り返った。

J A全農いわてでは、カーリングを含めさまざまなスポーツ活動への支援をしています。高橋県本部長は「特に成長期の子どもたちにとって、食べ物は重要なファクター。今後もスポーツを頑張る子どもたちへのサポートを続けていく」と話しました。

◆ 高品質の県産花きを審査・販売

令和4年9月2日(金)～3日(土)

いわてフラワーコンテスト

9月2日(金)と3日(土)の2日間、「いわてフラワーコンテスト」を岩手県花巻市のJAいわて花巻コミュニティホール「おっほの館」で開催しました。岩手県産花きが集結し、2日(金)は入賞作品の審査、3日(土)は一般公開・販売を行いました。

当コンテストは、県内で生産された花き類を広く紹介し、需要の拡大を図ろうと毎年開催され、今年で41回目を迎えました。

当日は主力商品の「リンドウ」や「コギク」をはじめ、「オリエンタルユリ」、「トルコギキョウ」など、県内各地から188点が出品。①花付きや発色などの「品質」②「病害虫の有無」③審査時に8分咲きになっているかの「商品性」の3点において審査されました。

最優秀賞(農林水産大臣賞)に、JA新しいわて(八幡平市)の三浦正美さんのリンドウ「安代の輝き」が選ばれたほか、計30点が入賞。上位5点を非売品、そのほかは販売用として展示し、訪れた人は高品質な県産花きを楽しみました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、過去2年は審査のみ実施。一般公開・販売の実施は3年ぶりとなりました。



会場内に並ぶ岩手県産花きを慎重に審査する審査委員



岩手県産花きの主力商品「リンドウ」は109点出品されました

◆ 全農いわてから2組が入賞

令和4年9月5日(木)

政策提案コンテスト「Wild Cup 2022」表彰式

9月5日(木)、盛岡市のサンビルで、岩手県農林水産部主催の政策提案型調査研究コンテスト「Wild Cup 2022」の表彰式を行いました。

全農いわてでは関係団体部門に5組がエントリーしました。8月9日(火)、10日(水)の2日間にわたり行われたプレゼンテーションと審査の結果、米穀部が県オリジナル品種米「銀河のしずく」の販路拡大を目指す提案で、農業分野で優秀な企画に贈られるJA県中央会長賞を受賞しました。園芸部も水稲育苗ハウスの空き期間を野菜栽培に活用し新規生産者を増やす提案で関係団体部門賞を受賞しました。

表彰式には、岩手県農林水産部の高橋真博農林水産企画課長が来訪し、米穀部に賞状と県産木材を使ったトロフィー、園芸部には賞状を授与しました。

高橋課長は「全農いわてをはじめとする関係団体の提案は、自らの販売経験と結びついたものが多く、県にはない視点やアイデアにあふれたプレゼンだった」と今回のコンテストを評価。米穀部チームの小野将太さんは「来年はさらに上位を狙える企画を提案したい」と意気込みを語りました。



JA岩手県中央会長賞を受賞した
JA全農いわて米穀部チームと高橋真博課長



関係団体部門賞を受賞した
JA全農いわて園芸部チームと高橋真博課長

◆ 岩手らしさで挑む「和牛のオリンピック」

令和4年9月9日(金)

全国和牛能力共進会岩手県結団式

9月9日(金)、盛岡市のホテルメトロポリタン盛岡NEW WINGで「第12回全国和牛能力共進会岩手県結団式」が行われました。10月6日(木)から鹿児島県で開かれる本大会に向け、岩手県チームの団結と交流を図るもので、出場する県内の生産者、全農いわてを含む和牛育種関係者などおよそ80人が出席しました。

「全国和牛能力共進会」は、5年に一度開かれる全国規模の品評会で、岩手からは種牛の部に14頭、肉牛の部に7頭が出品されます。

出場者を代表し、岩淵さんは「長引くコロナ禍や異常気象などさまざまな障壁があるなか、夢の舞台を用意してくれた大会関係者、サポートやバックアップをしてくれたすべてのみなさんに感謝し、チーム一丸となって岩手らしさをアピールし上位入賞を目指します」と挨拶しました。

和牛の育種は長い時間をかけた取り組みが必要になります。JA全農いわてでは、県や関係団体と連携をしながら継続したバックアップを続けてきました。高橋司県本部長は「全国大会への出場は、何よりも生産者の方々の努力のたまもの。健闘を祈るとともに、これからも長期的な目線で絶え間ないサポートをしていきたい」と話しました。



遠増知事(前列左)から県旗を受け取った、団長の岩淵さん(前列右)

◆ 「いわて牛」のブランド力強化へ

令和4年9月16日(金)

岩手県有種牛産子限定の枝肉共励会を開催

9月16日(金)に岩手県といわて牛普及推進協議会が主催する「令和4年度岩手県有種雄牛産子限定枝肉共励会」が、紫波町の(株)いわちくで開催されました。枝肉審査において、最優秀賞に奥州市の菅野陽弘さん(JA岩手江刺)の出品牛が選ばれました。

この共励会は、岩手県と県内生産者・関係団体でつくりあげた「県有種雄牛」の活用促進とブランド牛肉「いわて牛」の評価向上、生産農家の肥育技術の研鑽や生産意欲高揚を目的に昨年度から開催されています。

菅野さんは「とにかく健康に育てることに気を配った。自分でイチから育てた母牛との子が最高評価を受けたというのが何より嬉しい」と笑顔を見せました。

最優秀賞の牛肉は「チャンピオン牛」として、いわて生協の各店舗でフェアを展開する予定です。いわて牛普及推進協議会の構成団体のひとつ、本会畜産酪農部の担当者は「いわて牛の評価が高くなることは、生産者の方々の励みになり、収入増にもつながる。岩手が誇る自慢の牛肉を、たくさんの人に味わってもらいたい」と語りました。



最優秀賞の表彰盾を手に持つ菅野陽弘さん



最優秀賞の牛肉

2 全国クローズドキャンペーン

昨年度好評であった、全国クローズドキャンペーンの実施及びテレビCMと連動した資材作成や告知を行います。モニターキャンペーン、実需先やバイヤーへのダイレクトサンプルを継続し、販売拡大を図ります。

(1) 全国クローズドキャンペーンの実施

食べたらかわかる「いわて純情米」の美味しさを伝え、合計1,010（いわて（ん））名様に豪華景品が当たる消費拡大に向けたキャンペーンです。

- ・応募期間：令和4年10月1日（土）～12月31日（土）※当日消印有効
- ・対象商品：いわて純情米 2kg 5kg 10kg
- ・景品：A賞 いわて牛サーロインステーキ 100名 B賞 瓶ドン3種セット 90g×3本 100名
C賞 純情セレクトギフトボックス 200名
Wチャンス賞 金色の風・銀河のしずく300g×2枚 610名（合計1,010名）



いわて牛サーロインステーキ



瓶ドン3種セット

(2) モニターキャンペーンの実施

情報感度の高いマイクロインフルエンサー 300名に岩手県オリジナル品種の「金色の風」・「銀河のしずく」の試食モニターを実施し、アンケート取得とSNSでの情報発信を行います。

(3) ダイレクトサンプルの発送

実需先やバイヤーに新米の精米サンプルを直接送付し、令和4年産の「金色の風」・「銀河のしずく」・「岩手県産ひとめぼれ」の新米を実際に試食して頂き、販路拡大を図ります。



「いわて純情米」PRポスター

3 「銀河のしずく」コラボ料理の提供

高級ホテルやミシュラン一つ星獲得料理店とタイアップし、「銀河のしずく」を使用したコラボメニューを提供します。

- ・実施店舗①：ANAインターコンチネンタルホテル東京「雲海」 令和4年10月6日（木）～11月28日（月）
- ・提供内容：岩手銀河のしずく味噌焼きおにぎり・銀河のしずく炊き立て御飯岩手豚味噌角煮の小井・銀河のしずく釜炊き御飯
- ・実施店舗②：虎ノ門「空花」 令和4年10月6日（木）～10月31日（月）
- ・提供内容：かますの棒寿司・まぐろのいくらかさね寿司



INTRODUCTION

米穀部

米穀部の取り組みについて

はじめに

岩手県オリジナル品種の更なるブランド確立、並びに岩手県産米の消費拡大を目的とし、全国プロモーションを展開します。また、昨年度好評であった、全国クローズドキャンペーンを継続して実施し、「いわて純情米」の販売拡大を図ります。

令和4年産いわて純情米キャッチフレーズ「岩手の本気を食べてみて」

1 令和4年産全国プロモーション

令和4年産「いわて純情米」の販売促進と知名度向上を目的に、昨年に引き続き女優の“のん”さん、子役の“新津ちせ”さんを起用し、全国プロモーションを行います。

●TVCM放送期間

東京・名古屋・大阪：令和4年10月1日（土）～11月20日（日）
岩手県内：令和4年10月1日（土）～令和5年3月27日（月）

●WEB動画(YouTube)

令和4年10月16日（日）～11月13日（日）

●新聞広告(岩手日報)

令和4年10月1日（土）



「いわて純情米」TVCM



銀河のしずく篇



岩手県産ひとめぼれ篇

おいしい日本と暮らそう
JAタウン

いわて純情セレクト

「純情産地いわて」から、選りすぐりの農畜産物を販売しています。



オススメ商品盛りだくさん！
詳しくはこちらから ▶▶▶▶

ホームページ <https://www.ja-town.com/shop/c/cB4/> いわて純情セレクト

岩手県産ゼネラルレクラーク (10月中旬より順次発送)

「ゼネラルレクラーク」は西洋梨でコクのある品種です。
酸味と甘みの絶妙なバランスととろけるような舌触りをお楽しみいただけます。

●3kg 販売価格 **4,000円** (税込)



岩手県産ラ・フランス 10月上旬予約開始(12月上旬より順次発送)

フルーツの王様、ラ・フランスをJAいわて中央よりお届けいたします。
このラ・フランスは収穫後約1か月かけ丹念に追熟をし、ソフトな舌触りと高級感にあふれる香りを引き出しております。どうぞご賞味ください。

●3kg 販売価格 **4,000円** (税込)



【食べごろの見極め方】
果肉の方の部分を軽く押して、柔らかくなった時が食べごろです。力を入れなくてもナイフで切れ、果汁があふれ出ます。追熟をさせることで特有の香りや柔らかな舌触り、ジューシーさをもった味が出るのでその状態でお召し上がりください。

この商品は予約商品です。出荷時期をご確認ください。生鮮品のため、生育状況により発送時期が予定より前後する可能性がございます。あらかじめご了承ください。



上段左から菊池補佐、阿部理事
下段左から松平理事、佐藤代表理事、高橋地区担当部長

生産者と共に奮闘する
営農支援部の活動をレポート

TRY!
**営農支援
レポート**

JA岩手ふるさとでの農家手取り最大化プロジェクトを活用した農業法人支援



営農支援部
地区担当部長
高橋 輝

今回ご紹介するのはJA岩手ふるさとでの農家手取り最大化プロジェクトを活用した農事組合法人「たなか」への支援についてです。

「たなか」の概要

平成28年に法人化し、現在水稲・大豆を合計で48.2ha、高収益作物としてピーマンを28a作付けしています。水稲・大豆の輪作体系による経営の安定化、省力化を目標に令和2年度よりモデル農家として取り組んでいます。また、若手構成員も5〜6名おり、将来は地域の担い手としての期待が大きい法人です。

「農家手取り最大化プロジェクト」を活用した省力化技術の提案

JA岩手ふるさとでは各地域センターに営農アドバイザー兼担い手担当が配属されています。今回の胆沢地区では菊池課長補佐が中心となり本会と連携し、本年度はスマート農業中心に実践メニューを提案しました。スマート農業の導入や省力化・労働時間短縮などへの取組をきっかけ



V-NeKHS

に法人の若手構成員が積極的に参加してもらえようになれば、後継者育成生にも期待できると考えています。

- GPS機能付き自動操舵農機

この地域は基盤整備が進んでおり当該法人の圃場も1辺が100m以上のものもあります。そのため田植えや播種はベテランのオペレーターでも神経をすり減らすことから、自動操舵に興味を持っていました。そこで本会が仮想基地局を設置しているV-NeKHS方式の装置で大豆の畝立播種を実施しました。従来と比べ手動での運転が減少したため、疲労軽減につながり、継続して作業ができることで1日当りの作業面積が10%程度増加しました。また、その後の



自動給水機



水位センサー

雑草防除など管理作業もはかどることから、導入を検討する事になりました。

- 水位センサーと自動給水機

水位センサーはスマートフォンで水位が確認できるため圃場に向く回数が減り、時間と心の余裕が持てるようになりました。自動給水機は夜間に自動で給水できることから、大きな省力効果が期待されましたが、開発して間もないこともあり誤作動が多かったため、今後の改良に期待し、次年度も設置を継続していきます。

今回の取組みにより法人とJAのより親密な関係を構築し、代表者のみならず若手構成員の方も含め多くの情報交換の場を設けることができました。

JA岩手ふるさとでは菊池課長補佐をはじめ担い手担当を中心にモデル農家で得られた実践メニューを他の経営体にも紹介し、水平展開を進めていきます。本会もJAと連携し、優良な実践メニューの提案や事例の普及拡大に取組んで参ります。



畜産酪農部
畜産販売課

山崎 陸さん

◎趣味・特技

趣味:サッカー、買い物、読書
特技:リーバイスのデニムを見分けられます。

◎現在の担当業務

肉豚の集荷～販売に関する業務を行っています。

◎これからどんな職員になってみたいか

生産者様のために、迅速かつ正確に対応できる職員を目指しています。
先輩方から日々多くのことを吸収し、早く一人前になりたいです。

◎その他アピール

至らない点ばかりですが、何事も全力で頑張りますのでしくお願いします!

JA全農いわての 純情人

じゅん じょう びと

いわて純情りんごは、食味の良さ・品質の高さにおいて販売先からの評価が高い産地です。その美味しさの秘訣は、①無袋栽培・②わい化栽培・③完熟収穫・④昼夜の温度差 主に4つのポイントが挙げられます。

記録的な猛暑が続いた今年の夏も終わりを迎え、消費地でも秋めいてきています。今回は今後12月にかけて出荷最盛期を迎える「いわて純情りんご」について、特集したいと思います。

いわて純情りんご美味しさの秘訣

①無袋栽培―果実に袋をかけないことで、太陽の光を充分に浴び、光合成が活発に行われることで糖度が上昇し、栄養満点の果実が収穫できる。

②わい化栽培―わい化栽培とは高さ2.5m程の小さい樹を仕立てて栽培する手法。小さい樹で栽培することによって樹のすみずみまで太陽の光が届くように工夫しており、農林水産省「令和元年産特産果樹生産動態等調査」によると、岩手県のりんご「わい化栽培」の割合は90%以上と全国で1位となっているように、「岩手わい化栽培」が根付いている。

③完熟収穫―樹上で完熟させてから収穫することで、最も美味しい状態で消費者へとお届けすることができる。岩手県では主に年内販売をターゲットとし、例えば「サンふじ」では収穫時期を満開日計算で180〜185日後に定めている。樹上での日数が経つ（収穫

消費地だより

純情ブランド消費地の「今」をレポートします。



園芸販売センター
菊池 拓哉

「いわて純情りんご」取扱説明書

日が遅くなる）につれ、糖度が上がり・蜜入り・着色もよくなることから、越年を見越した販売を行う（収穫時期を満開日計算で165〜180日後としている）産地よりも、成熟して蜜入りが良いりんごをお届けできる。

④昼夜の温度差―岩手ならではの昼と夜の温度差があることで、シャキッと引き締まったコクのあるりんごが育つ。

以上、4つのポイントを思い出しながらりんごを食べて頂けると、また違った味わいを感じられるのではないかと思います。

販売先からの評価・注目品種

毎年、早生種・中生種・晩生種へと出荷販売は推移していきませんが、特にも晩生種である「サンふじ」はるか（冬恋）」については、国内外問わず、高い評価を頂いています。

「サンふじ」については、強豪産地である青森県が12月は輸出・ギフト向けの出荷対応に注力することもあり、岩手県産は同時期の国内流通の主力を担っています。

「はるか」については、国内だけでなく、輸出先である海外からも食味を高く評価されており、糖度・蜜入りの基準を満たした上位品質の「冬恋」に関しては、ブランドりんごとしての立ち位置を既に確立しており、販売先からの取扱要望に対する出荷量がまだまだ不足している状況にあります。

今シーズンは、凍霜・降雪被害のあった昨シーズンとは異なり、本県産を含む各産地ともに豊作基調が見込まれます。その中でも「いわて純情りんご」を売り場に並べたい」と販売先から思ってもらえるよう、安定した品質での収穫・出荷を心がけ、消費地の皆様へ「いわて純情りんご」をお届けできるよう頑張っていきます。



紅いわて

みのるダイニング 「和歌山県産いちじくパフェ」

和歌山県産いちじく

期間限定メニュー

いちじくパフェ



とろける甘さとぶちぶち食感



ミニサイズ

単品 790円 (税込869円)
ドリンクセット 890円 (税込979円)

レギュラーサイズ

単品 1,090円 (税込1,199円)
ドリンクセット 1,190円 (税込1,309円)

選べるドリンク

コーヒー (HOT/ICE)、ウーロン茶、りんごジュース、ブルーベリージュース、紅茶 (HOT/ICE)

みのるダイニングフェザン盛岡店では、9月から期間限定で「和歌山県産いちじくパフェ」を提供しています。

いちじくの紹介 【樹井ドーフィン】

和歌山県は「樹井ドーフィン」を中心とした「いちじく」の有数の産地です。今回はJA紀の里ファーマーズマーケット「めっけもん広場」直送、「とろける甘さとぶちぶちと弾ける食感」の「いちじく」を使用した限定パフェをお楽しみください!

岩手の本気を



食べてみて。



銀河のしずく
Ginga no Shizuku



金色の風
KONJIKI NO KAZE



いわて純情米
ひとめぼれ

編集後記

みのりの秋になり今年も岩手の美味しいお米ができあがりました。皆様も「いわて純情米」をたべてぜひキャンペーンに応募してみてください!! (大山)

KLARA

タイトルのKlara(クララ)は、宮沢賢治の手帳にしている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。



私たち全農グループは、**生産者と消費者を安心して結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。